



第11回やまぐち高校生県議会に 参加してきました！

周南地域版

R7.11.17 開催



高校生県議会って？

次代を担う県内高校生に県議会の役割や県行政への理解と関心を高めてもらうため、平成27年度から実施されている模擬議会

【周南地域の高校生議員の皆さん】

(熊毛北高等学校)

石田瑞歩君 村上いろはさん

(徳山商工高等学校)

松尾颯真君 湊 大地君

(周南総合支援学校)

合田凜音君 村谷 心君

(山口県桜ヶ丘高等学校)

藤内友葵さん 原田万澄君

竹田津佳史君

議長開会宣言

開会宣言する
柳居議長

高校生議員の自己紹介

高校生議員からの質問及び執行部答弁

電気代の高騰が高齢者の熱中症リスクを高めています。高齢者がより適切に冷房を使用できるよう、高齢者を対象に、熱中症警戒アラート発表日等の昼間における電気代支援を行ってはどうでしょうか。また、古い冷房器具の交換費用を高齢者優先で補助してはどうでしょうか。さらに、高齢者が適切にエアコンを使用できるよう、地域による見守りをしてはどうでしょうか。

県として現在の政策や検討中の政策はありますか。

質問をする
石田議員

県では、県民の安心・安全を守るためには、国や市町、民間企業等と連携し、熱中症対策に取り組むことが重要であると考えています。

具体的には、県のホームページや県政放送、広報誌等を通じて熱中症に関する情報を発信するとともに、民間企業と連携した啓発キャンペーンを行ったところです。

また、屋外での活動を控えるべきかどうか判断できるよう、熱中症警戒アラートなどの重要な情報を市町と連携して、迅速に県民の皆さんに届けるとともに、熱中症予防の指標である「暑さ指数」を測定する機器を貸し出すなどの取組も展開しているところです。

さらに、高齢者がより適切に冷房を使用できるよう、夏の電気代の負担軽減について、国において電気代の支援が行われており、県においても、高齢者が入居している介護施設等の光熱費の負担軽減が図られるよう支援を行っています。

また、冷房器具の整備支援については、生活に困窮されている方に対し、冷房器具をはじめとした、生活品の購入に必要な資金の貸付を行う社会福祉協議会に対して、運営費の支援を行っているところです。

さらに、独り暮らしなどの高齢者が冷房を適正に使用するためには、周囲の人々による声かけや見守り等も重要となることから、民生委員や郵便局、関係団体等との連携による必要に応じた訪問や電話による確認など、様々な機会を捉えた見守り活動を促進しています。

今後とも、県民の安心・安全を確保するため、国や市町、民間企業等と連携して、深刻化が懸念される熱中症への対策強化に取り組んでまいります。

答弁する
村岡知事

石田議員（熊毛北高）と合田議員（周南総合支援学校）が、周南地域を代表して質問をしました！

山口県の障害者実雇用率は法定雇用率を上回っていますが、やまぐち障害者雇用推進企業シンボルマークと、推進企業認定は認知度が低いのではないのでしょうか。結果として障害者雇用に向けた積極的な動きがないように思います。

企業側への周知のため、育児休業制度と同様のアピール・宣伝等を、障害者雇用に対して行ってはどうでしょうか。



質問をする
合田議員

障害がある高校生の雇用については、まず、企業の理解促進に向けて、障害者の雇用と定着を推進する職場リーダーを養成するとともに、障害者雇用に関する支援制度などを掲載したガイドブックの配布や、障害者雇用に積極的な「やまぐち障害者雇用推進企業」の認定・広報など啓発活動に取り組んでいます。

また、就業支援として、総合支援学校ごとに職場見学会を実施し、企業と生徒が相互に理解を深めることができる出会いの場を創出しているところです。

さらに、3年生を対象に企業現場での実践的な訓練を実施するとともに、就業後も、障害者職業訓練コーチがフォローアップするなど、障害者の多様なニーズにきめ細かく対応しています。

加えて、企業の理解促進に向けて、議員お示しのとおり「やまぐち障害者雇用推進企業」の制度やシンボルマークの認知度向上が不可欠であるため、県政放送や広報誌による周知に加え、SNSも活用し、戦略的な広報を展開してまいります。



答弁する
村岡知事

第11回やまぐち高校生県議会で可決された意見書

「高校生の通学にかかる費用の軽減を求める意見書」

教育の機会均等を実現するため、山口県内すべての地域で、地域の実態に応じた通学支援を導入することを求める意見書を高校生議員全員の賛成で可決しました。

(代表提案者:周防大島高等学校 木村 杏奈さん)



提案理由を説明
する木村議員



全員で採決

決意表明

高校生議員を代表して、
「ここでの学びと経験を胸に、
これからも地域や社会の課題に
向き合い行動し続ける。」
「希望と責任を持って前に
進み続ける」と決意表明しました。



決意表明する
吉野議員

(決意表明者:宇部西高等学校 吉野 煌基君)

記念撮影

